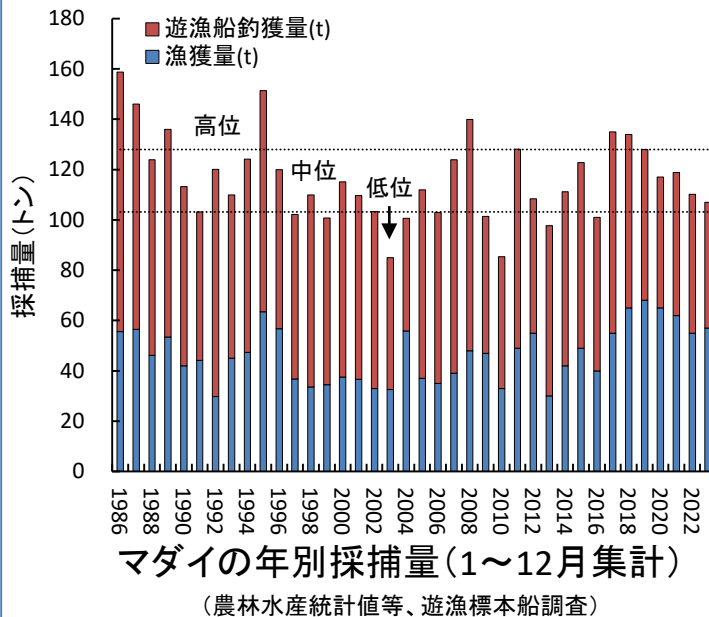


資源の動向 「中位・減少」



1978年に種苗放流を開始して以降、放流魚の割合が多かったが近年は天然魚主体である。また、遊漁船による採捕量は漁業のそれを上回っていたが、近年は同程度である。2023年度の資源評価調査報告書では、太平洋中部系群(千葉県～三重県)のマダイ資源は「高位・横ばい」であるが、2023年における本県の採捕量は「中位」、過去5年と比べると動向は「減少」と判断した。

対象漁業

- 定置網漁業
- 刺し網漁業
- 小型機船底びき網漁業



生物学的特性

- 分布: 北海道～南シナ海
- 移動: 満3歳魚まで地先に留まる
- 成長: 満3歳魚で尾又長34cm
- 産卵期等: 4～5月

